

学習内容報告書

学校名	小浜市立内外海小学校
授業者	須賀原 美結子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

若狭の牡蠣のみりよくを伝えよう

1-2. 学年

3年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、社会科

1-4. 単元の概要

地域の特産である「養殖牡蠣」の仕事について調べたり、牡蠣の殻の再利用について考えたりすることで、地域の魅力に気づき、伝えたり、自分たちの生活や地域のために行動しようとする態度の育成を旨とする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

3年生では、「内外海の宝ともっとつながろう」ふるさと学習のテーマとして、地域の成り立ちや食べ物（梅、塩、牡蠣）を中心に調べてきた。社会科では、「農家の仕事」「くらしを守る仕事」など、仕事に着目する学習をしてきた。そこで、総合的な学習でも、社会科の見方・考え方を生かして「地域の特色を生かした仕事」に関する学習を進めたいと考えた。

また、初めての総合的な学習の時間、社会科で、内外海の宝について問いをもち、調べ、体験し、まとめ、伝えるという一連の活動を通して、学びのサイクルを身につけ、自分のよさや成長に気づくことや、ふるさとの宝について知ったことを、自分たちの生活やお世話になった人のために活用しようとする態度をはぐくむことをねらいとして単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

ふるさとに関わる問いをもち、課題を設定する力

習得したことを比べたり関連づけたりして、共通する部分を見つける力

学んだことをもとにして、よりよい社会を旨として自分にできることを考える力

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

内外海の食の宝である養殖牡蠣についてお話を聞き、内外海の海の豊かさを知る。
実際に牡蠣養殖に関わる人のお話を聞くことで、仕事内容や、働く人の苦労や願いについて考えるきっかけとする。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>○牡蠣養殖の仕事をしている大橋さんから、内外海地区 (特に仏谷区) での牡蠣養殖の始まりや牡蠣養殖の仕事、栄養、食べ方、生態についてお話を聞く。</p> <p>○質問や感想を言う。</p> <p>○学習をふり返っての感想を書く。</p>	<p>・事前に調べた内容とともに、牡蠣についての理解を深めたり、今後の学習の見通しをもったりしているか。(発言内容・感想)</p>
<p>【児童の感想】</p> <p>・カキには、仲間と天敵がいることを初めて知った。どのようにして天敵に対応しているのか知りたい。</p> <p>・牡蠣殻の使い道を少し知れたので、調べてみたい。</p> <p>・日本は調理してから食べていて生で食べることはほとんどないけど、外国は全部生で食べられているから、からを取る人はとても大変だと思った。これから、カキの食べ方や、とれたカキは市場の他にも行くところがあるかについて調べていきたい。</p> <p>カキの食べ方には、カキめし、カキフライ、カキの天ぷら、カキの酢の物、カキのおすまし、カキなべなどあって、ぼくは、ほとんど知らなかったの、たくさんあることが分かった。</p>	

3. 今回の活動の自己評価

子ども達は、養殖の方法の移り変わりや、食べ方、外国での養殖の仕方や食べ方などについて詳しく知ることができた。本時がきっかけとなり、今後、内外海の人々が牡蠣をどのように食べているのかについてや、牡蠣の殻がどのようにすがたをかえているのかについて調べたいという気持ちを高めることができた。

子ども達にとって、地域の特色ある産業に関わる方とお話できる機会は大変貴重だと感じた。

一方で、ねらいとしていた「地域の特色を生かした仕事」に関する感想が少なかった。

4. 今後の課題

「地域の特色を生かした仕事」に着目できるように、仕事に関する児童の感想や疑問を共有したり、社会科で学習したことと関連づけて、「牡蠣養殖の仕事のくふうを見つけよう」などのめあてを設定したりする必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点